

平成 29 年政策評価書

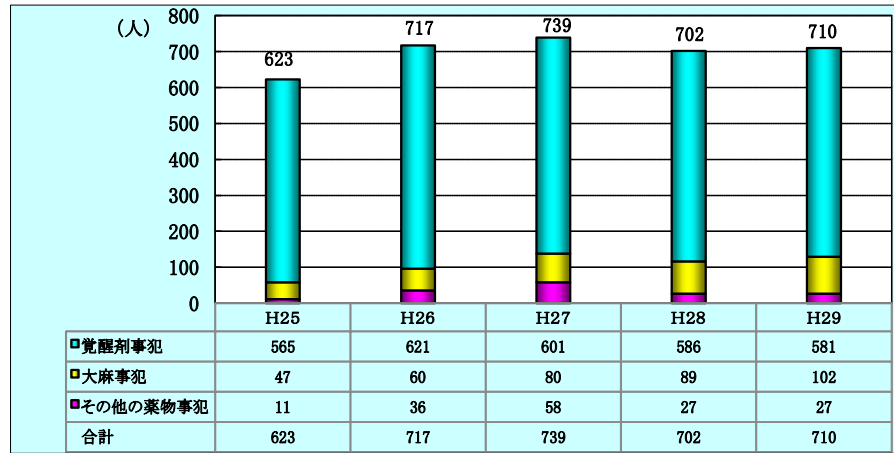
千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施策	組織犯罪の壊滅に向けた取組の推進
施策目標	総合的な薬物銃器対策及び暴力団対策並びにヤード対策の推進
施策設定の背景	<p>薬物の密輸や密売は、犯罪組織の主要な資金源となっている一方、覚醒剤や大麻などの薬物乱用者は、幻覚・妄想から各種犯罪を引き起こすなど、治安に対する大きな脅威であることから、供給の遮断と需要の根絶の両面から総合的な薬物対策を推進する必要があります。また、拳銃については、暴力団組織の武器庫の摘発を行うとともに、銃器犯罪の根絶や違法銃器の排除を広く県民に呼びかけるなど、総合的な銃器対策を推進する必要があります。</p> <p>暴力団は、対立抗争事件を引き起こす等、依然として社会の脅威となっていることから、組織の弱体化・壊滅に向けた総合的な暴力団対策を推進する必要があります。</p> <p>一方、本県のヤード把握数は、全国で最も多い551か所（平成28年12月末現在）であり、一部のヤードが盗難自動車の解体・不正輸出の作業場となり、犯罪の温床になっている状況がみられることから実態解明を推進する必要があります。</p>
実施項目 1	薬物乱用者の発見及び徹底検挙
推進結果 1	末端乱用者に対する重点的な取締りを推進したほか、職務質問、相談業務等あらゆる警察活動を通じて、末端乱用者の発見、検挙活動を推進しました。
実施項目 2	違法銃器の摘発強化
推進結果 2	暴力団の武器庫の摘発や拳銃の密輸・密売事件等の摘発に重点を置いた取締りを行うとともに、関係機関・団体と連携した活動により、銃器犯罪の根絶と違法銃器の排除を広く県民に呼び掛けました。
実施項目 3	薬物乱用を拒絶する社会の形成
推進結果 3	広く県民が参加できるような薬物乱用防止に関する講話を実施したほか、広報紙や県警ホームページ等の広報媒体を活用し、薬物乱用の現状と薬物の害悪性等について積極的に広報しました。
実施項目 4	暴力団による不法行為の根絶
推進結果 4	<ol style="list-style-type: none"> 1 対立抗争事案等の未然防止 県警の総力を挙げた諸対策を推進して、対立抗争事案の発生を防止したほか、松戸市内において連続発生した拳銃発砲事件では、稲川会系暴力団組長らを検挙するなどし、同種事件の続発防止を図りました。 2 暴力団犯罪の徹底検挙 あらゆる法令を駆使して、暴力団の資金源となる犯罪を摘発し、資金源の遮断に努めるとともに、積極的に暴力団犯罪を検挙し、組織の弱体化を図りました。 3 暴力団対策法の積極的な適用 指定暴力団員がその所属する暴力団の威力を示して行う暴力的要求行為等に対して、暴力団対策法を適用し、中止命令を積極的

	に発出するなど、組織の資金源の遮断に努めました。
実施項目 5	暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進
推進結果 5	<p>1 千葉県暴力団排除条例に基づく諸施策の推進 千葉県暴力団排除条例の目的、効果等を浸透させるための広報啓発活動を推進するとともに、県民、事業者による暴力団排除の取組を積極的に支援しました。</p> <p>2 地方公共団体が行う暴力団排除への支援 暴力団排除条例に基づく推進体制の整備のほか、公の事務・事業から暴力団等を排除するための規定整備など、地方公共団体が行う暴力団排除の取組を積極的に支援しました。</p>
実施項目 6	ヤードの実態解明
推進結果 6	各種法令に基づく警察独自の立入りを積極的に実施したほか、関係機関と連携した行政指導を実施してヤードの実態解明を図りました。
実施項目 7	ヤード関連犯罪の徹底検挙
推進結果 7	外国人のヤード経営者が盗難車両を保管していた事件を検挙したほか、あらゆる法令を適用してヤード関連犯罪を検挙し、不法ヤードの解体を図りました。
実績（成果）	<p>1 薬物銃器対策</p> <p>(1) 平成29年中における薬物事犯の検挙状況 薬物事犯の検挙人員は710人で、前年と比較して8人増加しました。特に、大麻に係わる事件の検挙人員が平成28年と比較して13人増加しました。</p> <p>(2) 平成29年中における拳銃の押収状況 拳銃の押収丁数は17丁で、平成28年と同数でした。このうち、暴力団からの押収が3丁で、平成28年と比較して2丁増加しました。</p> <p>(3) 平成29年中における薬物乱用防止広報啓発活動の実施状況 薬物乱用防止講話を36回、薬物乱用防止キャンペーンを17回実施しました。</p> <p>2 暴力団対策</p> <p>(1) 平成29年中における暴力団の検挙状況等 暴力団員の検挙人員は846人で、平成28年と比較して90人減少しました。また、指定暴力団員が行う暴力的要求行為等に対する暴力団対策法に基づく行政命令の発出件数は110件で、平成28年と比較して20件増加しました。</p> <p>(2) 平成29年中における暴力団排除活動の推進状況 暴力団排除に取り組む県民や事業者に対する支援を実施し、祭礼や銀行取引などから暴力団を排除したほか、地方公共団体が行う暴力団排除への取組を支援し、一部事務組合と協定を締結するなど、暴力団排除基盤の整備を推進しました。</p> <p>3 ヤード対策</p> <p>(1) 平成29年中におけるヤードの実態解明 延べ767か所のヤードに対する立入り等を実施し、28か所のヤードを解体しました。その結果、ヤード把握数は527か所となり、平成28年と比較して24か所減少するなど、ヤードの実態解明を図りました。</p> <p>(2) 平成29年中におけるヤード関連犯罪の検挙</p>

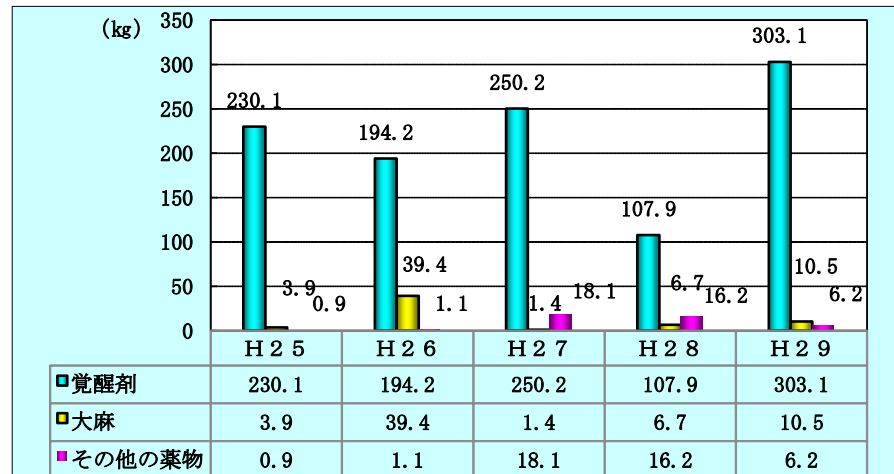
盗難自動車を保管していたヤードの経営者を検挙するなど、
 検挙人員は23人で、平成28年と比較すると14人減少しま
 した。

実績（成果）指標

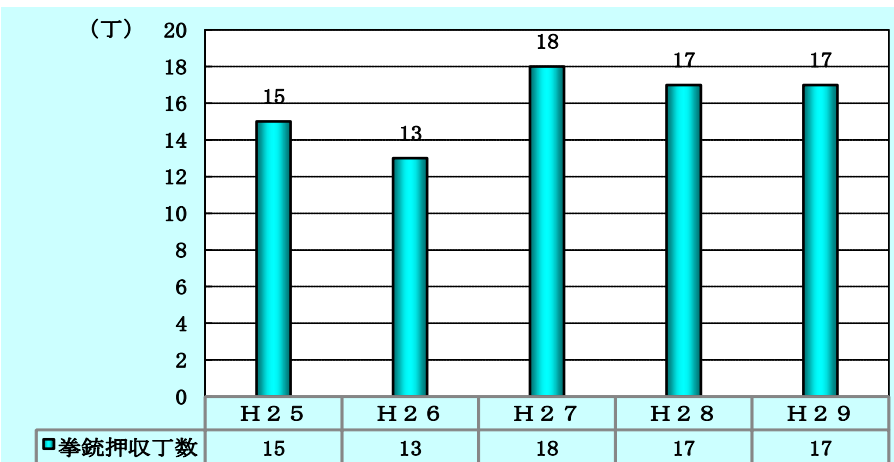
【薬物事犯の検挙人員（千葉県）】



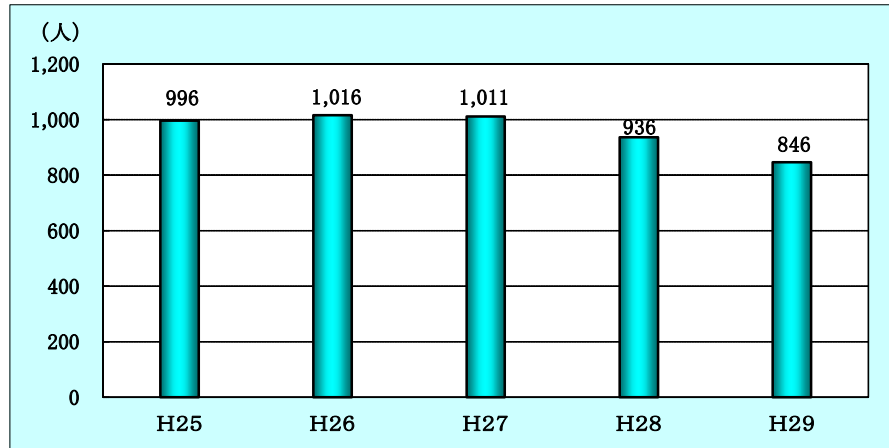
【薬物事犯の押収量（千葉県）】



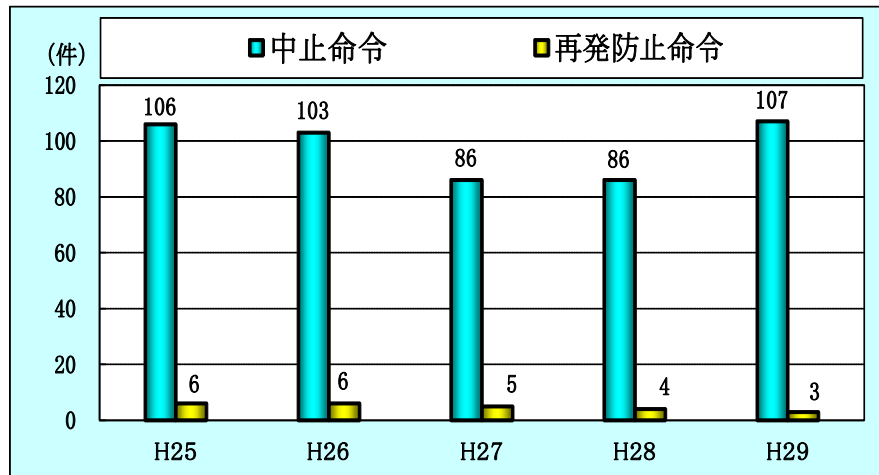
【拳銃の押収丁数（千葉県）】



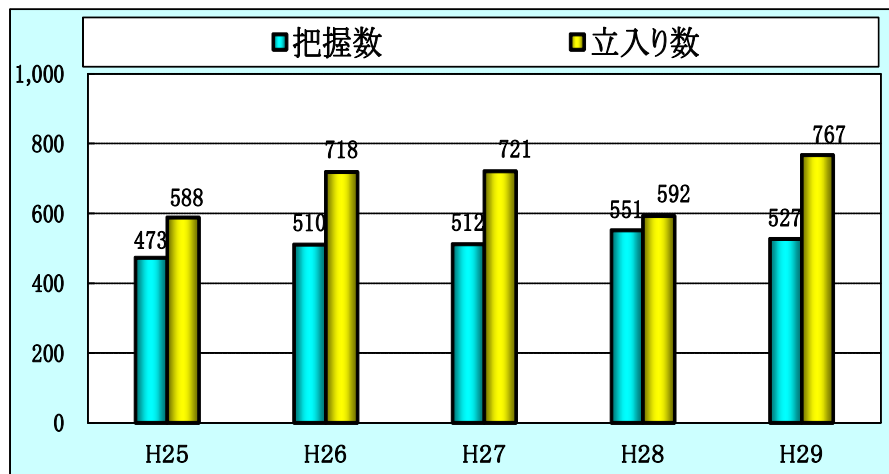
【暴力団犯罪の検挙人員（千葉県）】



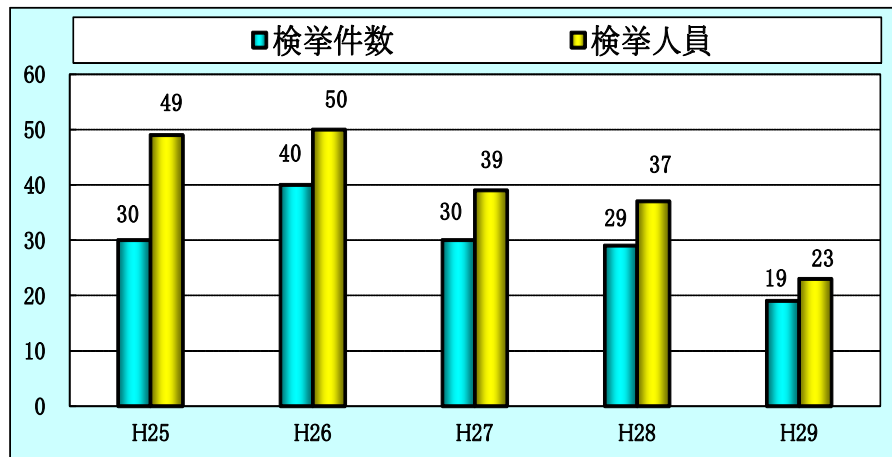
【行政命令の発出件数（千葉県）】



【ヤードの把握数、立入り数（千葉県）】

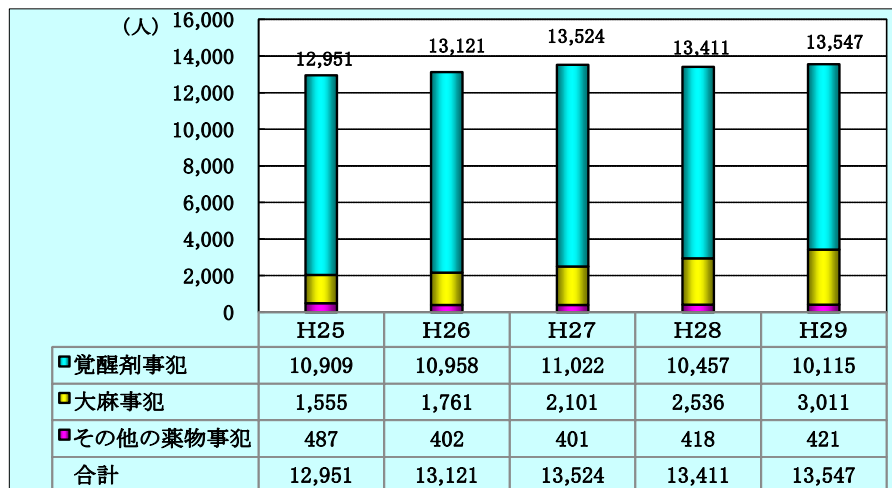


【ヤード関連犯罪の検挙件数、検挙人員（千葉県）】

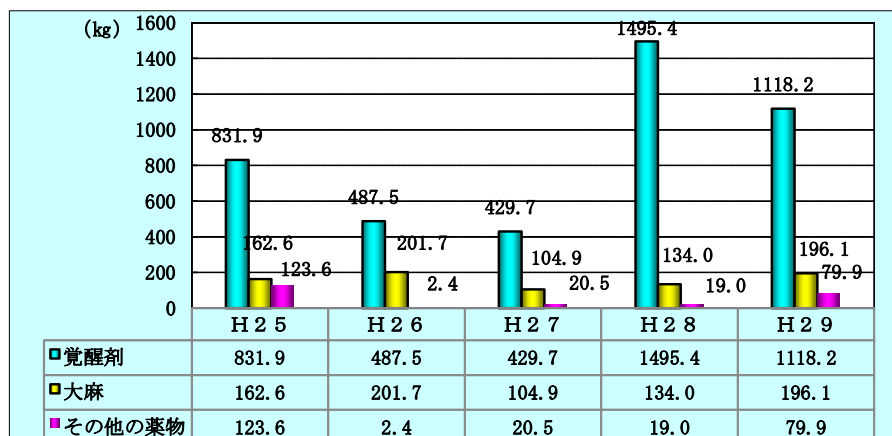


参 考 指 標

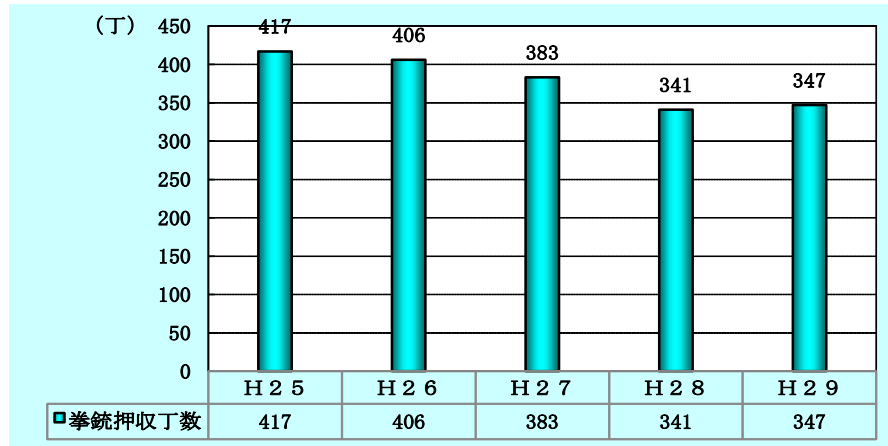
【薬物事犯の検挙人員（全国）】



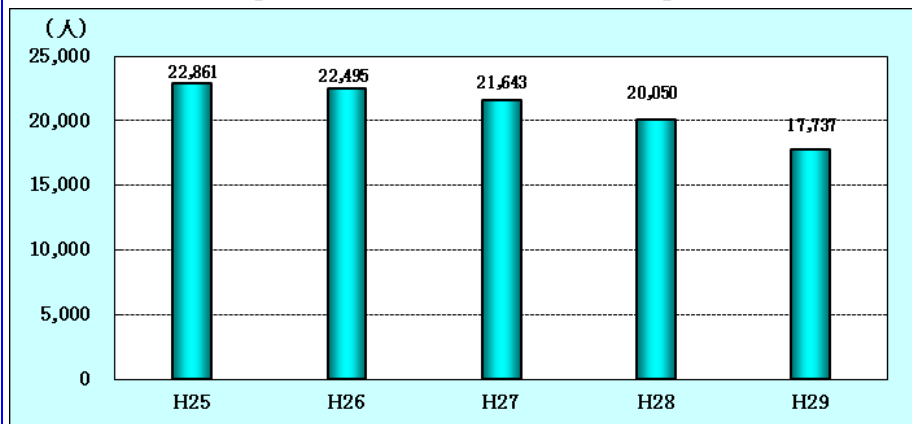
【薬物事犯の押収量（全国）】



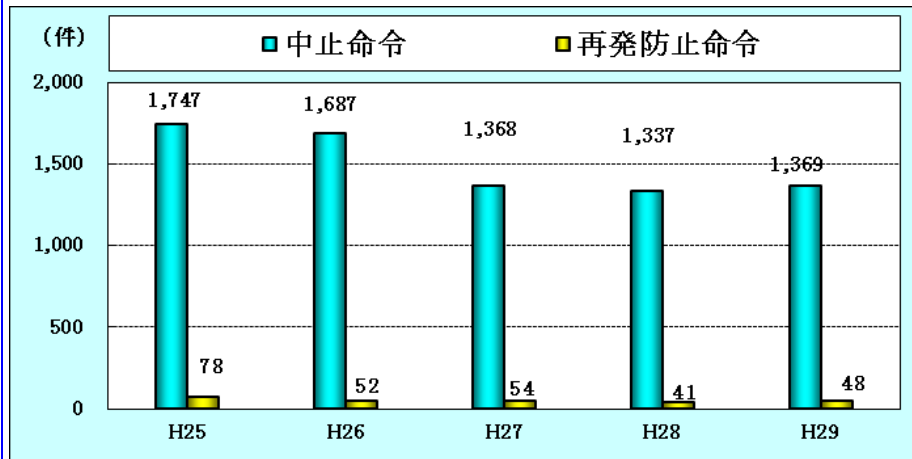
【拳銃の押収丁数（全国）】



【暴力団犯罪の検挙人員・全国】



【行政命令の発出件数・全国】



効

果

- 薬物対策
突き上げ捜査から暴力団や外国人犯罪組織が関与する薬物密輸・密売組織を壊滅するとともに、積極的な麻薬特例法の適用によって、組織に打撃を与える対策を推進しました。
- 暴力団対策

	<p>あらゆる法令を駆使した取締りと暴力団排除活動を両輪とした取組によって、暴力団組織を支える人的基盤に打撃を与えるとともに、資金源の封圧を進めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヤード対策 <p>事件検挙などの取締りにより9か所の不法ヤードを解体するとともに、ヤードの地権者等に対する土地賃貸借契約解除の働き掛けなどを行い、19か所のヤードを解体しました。</p>
<p>今後の課題及び方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物対策 <p>県内では、特に大麻事犯の検挙が増加傾向にあります。大麻事犯の検挙は、平成29年には過去5年で最多の102人を記録し、若年層を中心に薬物汚染が広がりを見せていることから、密売人と薬物乱用者の徹底検挙を図ります。また、覚醒剤の押収量は大幅に増加したものの、「運び屋」方式と呼ばれる、旅行客を装い、航空機を利用して、スーツケース等に違法薬物を隠匿して密輸する手口の覚醒剤密輸入事犯が相次ぐなど、その手口は巧妙化しています。薬物の密輸・密売は暴力団等犯罪組織の資金源となっていることから、暴力団や不良外国人が関与する薬物犯罪組織の壊滅に向けた取組を推進します。</p> ○ 暴力団対策 <p>六代目山口組と神戸山口組の対立抗争が長期化しているほか、松戸市内では、稲川会系暴力団による拳銃発砲事件が連続発生するなど、暴力団の存在が依然として、社会の脅威となっていることから、県民生活の安全に万全を期すため、県警の総力を挙げた諸対策を推進します。また、暴力団は、みかじめ料の徴収等に加え、暴力団関係企業や共生者を利用するなど、資金獲得活動を多様化させていることから、暴力団の弱体化・壊滅に向けた取組を図るとともに、資金源犯罪等に重点を置いた取締りと官民一体となった暴力団排除活動を両輪とした暴力団総合対策を推進します。</p> ○ ヤード対策 <p>ヤードは、いまだその一部が盗難車両を解体する不正輸出の作業場に使用されるなど、犯罪の温床といえる状態となっています。今後もこうした不法ヤードの壊滅に向けて、警察独自の立入りのほか、平成27年4月に施行された「ヤード適正化条例」に基づく県との合同立入り等を積極的に実施し、ヤードの実態解明を推進するとともに、ヤードの地権者への土地賃貸借契約解除の促進や、条例に基づく告発を端緒とする事件化を積極的に推進し、実効性のあるヤード対策を推進します。</p>
<p>施策主管課 政策評価担当課</p>	<p>刑事部組織犯罪対策本部薬物銃器対策課、刑事部組織犯罪対策本部捜査第四課及び刑事部組織犯罪対策本部国際捜査課 刑事部組織犯罪対策本部組織犯罪対策課</p>